

アンチ・ドーピングの基礎知識

アスリートとして知っておくべきルール

① 10のアンチ・ドーピング規則違反

アンチ・ドーピング規則に違反すると、制裁措置を受けることになります。

- 1 採取した尿や血液に禁止物質が存在すること
- 2 禁止物質 禁止方法の使用または使用を企てること
- 3 ドーピング検査を拒否または避けること
- 4 ドーピング・コントロールを妨害または妨害しようとする事
- 5 居場所情報関連の義務を果たさないこと
- 6 正当な理由なく禁止物質 禁止方法を持っていること
- 7 禁止物質 禁止方法を不正に取引し、入手しようとする事
- 8 アスリートに対して禁止物質 禁止方法を使用または使用を企てること
- 9 アンチ・ドーピング規則違反を手伝い、促し、共謀し、関与すること
- 10 アンチ・ドーピング規則違反に関与していた人とスポーツの場で関わりを持つこと

「CHECK!」

厳格責任

禁止物質が見つかった場合、故意でなくてもドーピング違反に

証明責任

「クリーン」であることは、アスリート自身が証明

制裁期間中は資格停止

制裁期間中は、スポーツに関わる一切の活動ができません

② ドーピング検査は、アスリートがクリーン(潔白)であることを証明します

ドーピング検査には、尿検査と、血液検査があります。検査は全世界統一の手順で実施されています。



尿検査



血液検査

ドーピング検査の種類



競技会検査



競技会外検査

アスリートはいつでもどこでも検査に対応

ドーピング検査には、競技会の際に行う「競技会検査」と、トレーニング期間中などに行う「競技会外検査」があります。「RTPA」と呼ばれるアスリートになると、「居場所情報の提出」が義務付けられ、競技会外検査を受ける可能性が高くなります。

③ 気をつけよう! アスリートの日常3つのチェックポイント

「CHECK!」

POINT 1

禁止表国際基準で、禁止物質や禁止方法をチェック!!



- 全世界 全スポーツ共通
- 少なくとも年1回 (毎年1月1日)

禁止物質や方法は、WADA (世界アンチ・ドーピング機構) が定めた禁止表国際基準に記載されています。最新版は、JADA のホームページからチェック!



POINT 2

日常生活に潜むリスク 正確なアンチ・ドーピング情報を「安心トライアングル」で確認しよう!



かぜ薬など医薬品にも禁止物質が入っている可能性があります!!



相談 // 検索



都道府県医師会のホットラインも活用可能

POINT 3

病院での治療で禁止物質を使わないようにアスリート自身でリスクを回避しよう!

医師に相談



禁止物質・禁止方法を使わずに治療できますか?

- 自分がアスリートだと伝える
- 使用が禁止されている物質 方法があると伝える
- 禁止物質 方法を使わず治療ができるか医師に相談する

禁止物質を使い以外に治療方法がない場合は



TUE 治療使用特例申請

病気やケガの治療を目的として禁止物質・禁止方法を使用する場合、TUE の申請をし、承認条件を満たせば特例としてその使用が認められます。

のどあめ「南天」成分 禁止薬物に指定

1月に変更された世界反ドーピング機関(WADA)の禁止薬物リストに、市販の「のどあめ」に使われる生薬「南天」などに含まれる物質で、気管を拡張する効果などがある「ヒゲナミン」が加わり、ネット上などで話題となっている。SNS上では同成分が含まれない製品までもが「禁止薬物」扱いさ

不使用の「龍角散」

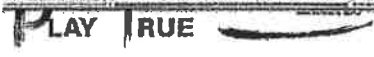
誤情報広がり困惑

昨年末に日本卓球協会は全国の指導者に向け、いち早く通達。今月16日から、東京体育館で全日本選手権が開幕するため、周知徹底を急いだ。通達では「ヒゲナミン」のほか、以前から禁止されている「エフェドリン(麻黄)」についても触れ、その成分が含まれる「浅田飴」

れるデマ情報も拡散している。

も使用不可、と改めて念を押しした。「南天のど飴」を販売する常盤薬品工業は「該当する方(選手)には、十分注意して取り扱いいただきたい」とコメント。一方、ヒゲナミンが含まれていないにもかかわらず誤った情報が広がった「龍角散のどすっきり飴」を販売する龍角散の担当者は困惑。「ヒゲナミンは一切含まれておりません」とホームページで発表した。(原田亜紀子)

デジタル版に詳報



アンチ・ドーピングを通して、スポーツの価値、社会との関わりを伝える

KNOWLEDGE プロに教わる正しい薬の知識 > 聞いてみよう、スポーツファーマシスト



アンチ・ドーピングの専門家 スポーツファーマシストを活用しよう

「風邪を引いたんだけど、薬に禁止物質が入っていないか心配……」。そんな時、相談したいのが、スポーツファーマシスト。「ファーマシスト」とは、英語で薬剤師を指します。スポーツファーマシストは、最新のアンチ・ドーピング規則に関する情報・知識を持ち、アスリートを含めたスポーツ愛好家に対して、薬の正しい使い方の指導などを行う専門家です。薬剤師の資格を持ち、JADAが定める所定の課程を修めています。



スポーツファーマシスト公式サイト

身近なスポーツファーマシストに相談 薬に禁止物質が入っている？

風邪を引いたり、ケガをしてしまったりした場合、使用する薬に禁止物質が入っていないか、スポーツファーマシストに相談しましょう。突然、体調を崩したときに困らないよう、日頃から自宅近くのスポーツファーマシストや、遠征先や合宿所の周辺にいるスポーツファーマシストを事前に調べておくことが大切です。



シチュエーション別-スポーツファーマシスト活用法-

医師からの処方を受ける場合

まずは、医師に自分がドーピング検査の対象となる可能性があるため、禁止物質が含まれない薬を処方してもらえるよう伝えてください。医師の禁止物質に対する知識が乏しい場合は、「スポーツファーマシスト」または「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」に問合せてもらえるよう伝えましょう。また、医療関係者用の情報として、症状別に注意が必要な治療薬をチェックできるページを用意しています。診察を受ける際、医師に確認してもらおう伝えてください。病院で確認してもらおう！

薬局・ドラッグストアで薬を購入する場合





事前にスポーツファーマシストが在籍する薬局・ドラッグストアを「スポーツファーマシスト検索ページ」で調べておくと、いざという時に安心です。突発的なケガにみまわれた場合のために合宿所など周辺の薬局を調べておくほか、日常的に使用する薬について相談するためにも、顔見知りのスポーツファーマシストを作っておくのがベストです。

海外遠征時の対策マニュアル作成のため

何かと不安が多い海外遠征の前には、トラブルを避けるためにも対策マニュアルを作っておきたいところ。現地に持っていく薬について、事前にスポーツファーマシストに相談しておくのが安心です。

[インデックスに戻る](#)

KNOWLEDGE INDEX

 <p>聞いてみよう、 スポーツファーマシスト</p>	 <p>探してみよう、 スポーツファーマシスト</p>	 <p>薬について問い 合わせ</p>	 <p>病気で確認して もらおう</p>	 <p>GLOBAL DRO— 自分で自分の薬 をチェック</p>
--	--	--	--	--

[サイトトップ](#) > [世界で求められる知識 - プロに教わろう](#) > [聞いてみよう、スポーツファーマシスト](#)

サイトコンテンツ

- | | |
|----------------|----------------------------|
| スタート/アンチ・ドーピング | ダウンロード |
| アスリートに必要な手続き | JADAのミッション |
| プロに教わる正しい薬の知識 | お問い合わせ |
| リアルチャンピオン・ボイス | サイトマップ |
| よくある質問 | プライバシーポリシー |

関連リンク

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| JADA | Twitter |
| WADA | facebook |
| PLAY TRUE2020 | フィールドからの声 |
| ADAMS | |
| GLOBAL DRO | |
| スポーツファーマシスト | |

スポーツ庁委託事業
Copyright © Japan Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

[ページの先頭へ戻る](#)

薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン

原則として FAX でお問い合わせ下さい。

名称	FAX番号	(参考)電話番号
日本薬剤師会 消費者薬相談窓口	03-3353-8160	03-3353-2251(火・金 10時～12時 13時～16時)
ほっかいどう・おくすり情報室	011-831-6133	011-815-0093(月～金 9時～12時 13時～16時)
青森県薬剤師会薬事情報センター	017-743-7075	017-742-8822(月～金 13時～17時)
岩手県薬剤師会くすりの情報センター	019-653-4592	019-653-4591(月～金 9時～17時)
宮城県薬剤師会くすりの相談室	022-391-6630	022-391-1175(月～金 9時～17時)
秋田県薬剤師会くすり110番	018-835-2576	018-834-8931(月～金 9時～17時)
山形県薬剤師会薬事情報センター	023-625-3970	023-622-3550(月～金 9時～12時 13時～16時)
福島県薬剤師会薬事情報センター	024-549-2209	024-549-2203(月～金 14時～16時)
茨城県薬剤師会 くすりの相談室	029-306-8040	029-306-8945(月～金 9時～12時 13時～16時)
栃木県薬剤師会薬事情報センター	028-658-9847	028-658-9877(月～金 9時～16時)
群馬県薬剤師会薬事情報センター	027-223-5308	027-243-6650(月～金 9時～17時)
埼玉県薬剤師会情報センター	048-667-5580	048-653-4466(月～金 9時～17時)
千葉県薬剤師会薬事情報センター	043-247-4402	043-247-4401(月～金 9時～15時)
東京都薬剤師会 薬事情報課	03-3295-2333	03-3295-9532(月～金 9時～17時)
神奈川県薬剤師会薬事情報センター	045-751-4460	045-751-7066(月～金 9時～17時)
新潟県薬剤師会薬事情報センター	025-281-7735	025-281-7730(月～金 9時～12時 13時～17時)
富山県薬剤師会 くすり相談	076-422-3633	076-422-3111(月～金 9時～17時)
石川県薬剤師会薬事情報センター	076-231-6721	076-231-6711(月～金 9時～17時)
福井県薬剤師会薬事情報センター	0776-61-8561	0776-61-6566(月～金 9時～15時)
山梨県薬剤師会薬事情報センター	055-254-3401	055-255-1507(月～金 9時～17時)
長野県薬剤師会医薬品情報室	0263-34-0075	0263-34-5511(月～金 9時～17時15分)
岐阜県薬剤師会ぎふ薬事情報センター	058-247-5757	058-247-5122(月～金 9時～17時)
静岡県薬剤師会医薬品情報管理センター	054-203-2028	054-281-9998(月～金 9時～12時 13時～17時)
静岡県薬剤師会 高齢者くすりの相談室	054-203-2028	054-281-9989(月～金 9時～12時 13時～16時半)
愛知県薬剤師会薬事情報センター	052-222-3326	052-231-2261(月～金 9時～12時 13時～17時)
三重県薬剤師会 薬の相談テレホン	059-225-4728	059-228-1113(月～金 9時半～16時半)
滋賀県薬剤師会薬事情報センター	077-563-9033	077-565-3535(月～金 9時～17時)
京都府薬剤師会薬事情報センター	075-525-2332	075-525-1511(月～金 9時～12時 13時～16時)
大阪府薬剤師会薬事情報センター	06-6947-5487	06-6947-5486(月～金 9時～17時)
兵庫県薬剤師会薬事情報センター	078-341-6099	078-341-8089(月～金 9時～12時 13時～17時)
奈良県薬剤師会薬事情報センター	0742-24-1291	0742-27-6072(月～金 9時～15時)
和歌山県薬剤師会薬事情報センター	073-424-3353	073-433-0166(月～金 9時～17時)
鳥取県薬剤師会薬事情報センター	0859-38-5758	0859-38-1411(月～金 9時～17時)
島根県薬剤師会情報センター	0852-26-5358	0852-25-0900(月～金 9時～17時)
岡山県薬剤師会薬事情報センター	086-294-9056	086-294-9080(月～金 9時～17時)
広島県薬剤師会 薬事情報センター	082-248-1904	082-243-6660(月～金 9時～17時)
山口県薬剤師会 くすりの相談室	083-924-7704	083-923-1193(月～金 9時～16時)
徳島県薬剤師会薬事情報センター	088-625-5763	088-855-0025(月～金 9時～17時半)
香川県薬剤師会営業局県庁前	087-833-2132	087-832-7805(月～金 8時半～17時)
愛媛県薬剤師会 おくすり相談窓口	089-921-5353	089-932-2141(月～金 9時～17時)
高知県薬剤師会情報センター	088-820-5010	088-820-5011(月～金 9時～17時)
福岡県薬剤師会 くすりなんでもテレホン	092-281-4104	092-271-1585(月～金 9時～17時半 土 9時～12時)
佐賀県薬剤師会薬事情報センター	0952-23-8941	0952-23-2771(月～金 9時～17時半 土 9時～12時)
長崎県薬剤師会 薬相談窓口	095-848-6160	095-846-5918(月～金 10時～12時 13時～17時)
熊本県薬剤師会医薬情報センター	096-285-8248	096-274-5333(月～金 9時～17時半)
大分県薬剤師会薬事情報センター	097-544-8060	097-544-9512(月～金 9時～17時)
宮崎県薬剤師会薬事情報センター	0985-29-8127	0985-27-0129(月～金 8時半～17時 土 8時半～12時)
鹿児島県薬剤師会薬事情報センター	099-257-2516	099-257-2515(月～金 9時～12時 13時～17時)
沖縄県薬剤師会 おくすり相談室	098-963-8937	098-963-8935(月～金 9時～12時 13時～17時)

2016.05.01 現在